

第579回 新潟放送番組審議会 議事録

- 議題

フリートーク



平成 24 年 7 月 18 日

BSN新潟放送

第579回新潟放送番組審議会

1. 開催日時 平成24年7月18日(水)午前11:00~

2. 開催場所 ホテルイタリア軒 5F会議室

3. 委員の出席

委員側出席者(敬称略・順不同)

委員長	松川公敏	副委員長	相羽利子
委員	古賀豊	委員	渡辺隆
委員	佐々木広介	委員	行形貴子

委員側欠席者(敬称略・順不同)

委員	高井盛雄	委員	正道かほる
委員	齋藤俊太郎	委員	小島良子

新潟放送側出席者

社長	竹石松次	常務	熊倉雄三
編成局長	野島常雄	常務	梅津雅之
営業局長	島田好久	ラジオセンター長	
			小原弘志

事務局

社長室長	佐藤隆夫(事務局長)
考查広報部長	野上信子(事務局員)

4. 議題

1. 報告事項

8・9月の新番組・単発番組について(各局長)

2. 審議事項

フリートーク

この半年間(1月~6月)に放送した

- ・TBSほかキー局制作のネット番組
- 報道・情報番組を中心
- ・BSNで放送された番組について
- ・放送全般について
- ・その他

5. 議事の概要

~番組審議委員の主な意見・質問~

TBS の報道・情報番組について

「NEWS23 クロス」

- ・善場キャスターは安定感があり落ち着いて見ることができる半面あまり変わりばえがない。
- ・スポーツコーナーは必要か、これで良いのか再考を。
- ・「年金」のニュースについて、同じ日に他局と「NEWS23」の両方を見た。他局はフリップなど使いわかりやすく、23はただニュースを読むだけでわかりにくかった。特に数字など扱う場合は工夫が必要。

「サンデーモーニング」

- ・番組が長続きをしているのは関口宏が常識的で良い司会者であるから。
- ・関口氏が一般視聴者の目線で問題の投げかけをし、それに対してコメントーターが専門的な発言するのでわかりやすい。
- ・毎日新聞主筆の岸井成格さんは「この問題は、難しい。私ども新聞もどう取り上げるか検討している最中です」と自分の立場を明確にしたうえで、慎重に取り扱う姿勢がみられるので信頼できる。
- ・スポーツコーナーは、野球・サッカー・ゴルフなど、大体伝える順番が決まっているので好きなゴルフの話題を見落とすことがなく楽しめた。
- ・スポーツコーナーの張本氏は、外国人選手に対する発言などが気になる。大沢親分がいた頃はなごやかな雰囲気であったが。

「みのもんたの朝ズバ！」

- ・キャスターの好き嫌いがはっきりしている番組。最初はみの氏の態度に違和感があったが、最近は「いじめ」の問題などについて、まさにズバッと自分の意見を自分の言葉でリアルに伝えていたので少し見方がかわった。
- ・みの氏の態度が好きではない。うるさい。朝の顔に向かない。
- ・視聴者からのFAXをとりあげる際、みの氏が「我々がしっかり保管していますよ」と言ってしまう。その軽さが不快。

「TBSへの要望」

- ・バラエティー、ヒナ壇、グルメ、クイズの花盛り。全局横並び個性がない。TBS独自の個性と番組制作にあたり、常にファイティングポーズをとり続けてほしい。

BSN自社制作番組について

- ・地震から1年「BSN水曜見ナイト」の地震特集が印象に残る。風化させないよう、また防災の観点からも取材を継続してほしい。
- ・「BSN水曜見ナイト」を見るのが習慣になった。地域の話題はマイナーかも知れないが視聴者との距離感が違う。定時性は大事、頑張って続けて。
- ・BSNラジオは明るさがて良い。
- ・朝よく聞いているが、良い番組がたくさんあるので頑張ってほしい。

- ・若い制作者やアナウンサーがコンクールなどで受賞するのは喜ばしい。
60周年の歴史の重みを感じる。
- ・アーカイブ「カメラについて」まさに歴史ある局ならではの番組。
どんどん続けてほしい。

放送全体について

- ・大津市の「いじめ自殺問題」にみられるように、善悪をはっきりつける、悪者を見つけるといった姿勢が目立つ。悪者を叩くことで視聴者の興味をそそり、憂さ晴らし的な見方をするのではないか。
マスコミがそれにコミットするはどうか、ブレーキをかけるべきだ。
- ・報道と情報番組の定義はよくわからないが、ニュースの公共性は昔からのテーマだ。人はテレビやラジオ・新聞など大きなメディアに接し影響を受けながら自分の意見を持つようになる。マスコミの存在は重いものがある。信頼される放送を。
- ・年を取ったせいかテレビがうるさいと感じる。特にゴールデンタイムの番組はうるさく神経が集中できず見たい番組がない。
- ・東日本大震災以降、NHKがダントツで良い番組を作っている。
民放テレビはこれで良いのだろうか、視聴者も危機感を持たなければいけないのかと思う。
- ・インテリ芸人のクイズ番組が多いが、一般人が出場するクイズ番組が多い。
- ・おばあちゃんの知恵や経験を生かした料理番組がみたい。
(梅干し・梅酒の作り方など)
ほか活発な意見交換を行った。

【文責・番組審議会事務局】